

平成27年度行政事業レビューシート ()

警察庁

事業名	焦点			担当部局庁	警備局	作成責任者		
事業開始年度	不明	事業終了 (予定) 年度	終了予定なし	担当課室	警備企画課	警備企画課長 新美 恭生		
会計区分	一般会計			政策・施策名	5 国の公安の維持 1 重大テロ事案等を含む警備犯罪への的確な対処 2 大規模自然災害等の重大事案への的確な対処 3 対日有害活動・国際テロ等の未然防止及びこれらの事案への的確な対処			
根拠法令 (具体的な 条項も記載)	-			関係する計画、 通知等	-			
主要政策・施策	国土強靱化			主要経費	その他の事項経費			
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	警備警察活動に対する国民の理解と協力を得るため、警備情勢をめぐる厳しい情勢や全国の警備警察が具体的に行っている活動等について、国民に対し分かりやすくかつ丁寧に紹介する広報誌を作成する。							
事業概要 (5行程度以内。 別添可)	広報誌「焦点」を作成し、関係省庁・自治体、重要インフラ事業者等に配布するほか、警察署協議会、交番・駐在所等を通じて国民に幅広く広報を行うことで、我が国を取り巻く国際テロ情勢や諸外国による対日有害活動の実態、災害警備を始めとする警備実施等について分かりやすく伝えるとともに、全国の警備警察が具体的に行っている各種取組を紹介して、警備警察活動に対する国民の理解と協力を呼び掛ける。							
実施方法	直接実施							
予算額・ 執行額 (単位:百万円)	予算 の 状 況	当初予算	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度要求	
		補正予算	3	3	3	3	3	
		前年度から繰越し	0	0	0	0		
		翌年度へ繰越し	0	0	0			
		予備費等	0	0	0			
		計	3	3	3	3	3	
	執行額	3	3	3				
執行率 (%)	100%		100%		100%			
成果目標及び 成果実績 (アウトカム)	定量的な成果目標	成果指標		単位	24年度	25年度	26年度	目標最終年度 - 年度
	-	-	成果実績	-	-	-	-	-
	-	-	目標値	-	-	-	-	-
	-	-	達成度	%	-	-	-	-
成果目標及び成果実績(アウトカム)欄についてさらに記載が必要な場合はチェックの上【別紙1】に記載 <input type="checkbox"/> チェック								
定量的な成果目標 の設定が困難な場合	定量的な目標が設定できない理由	定性的な成果目標と24~26年度の達成状況・実績						
	定量的な目標が設定できない理由及び定性的な成果目標	(成果目標)警備警察活動に対する理解と協力の確保 (達成状況・実績)作成した広報誌「焦点」を関係省庁・自治体、重要インフラ事業者等に配布し、警備警察活動に対する理解と協力の確保に寄与した。						
事業の妥当性を検証するための代替的な達成目標及び実績	代替目標	代替指標	単位	24年度	25年度	26年度	目標最終年度 - 年度	
	-	配布対象機関数	実績	機関	203	203	307	-
			目標値	-	-	-	-	-
達成度			%	-	-	-	-	
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標		単位	24年度	25年度	26年度	27年度活動見込	
	発行部数	活動実績	部	80,000	80,000	80,000	-	
		当初見込み	部	75,000	75,000	80,000	80,000	
単位当たりコスト	算出根拠		単位	24年度	25年度	26年度	27年度見込	
	年度執行額/発行部数		単位当たりコスト 円	39	35	33	36	
		計算式	執行額/部数	3,148千円/80,000部	2,774千円/80,000部	2,675千円/80,000部	2,853千円/80,000部	

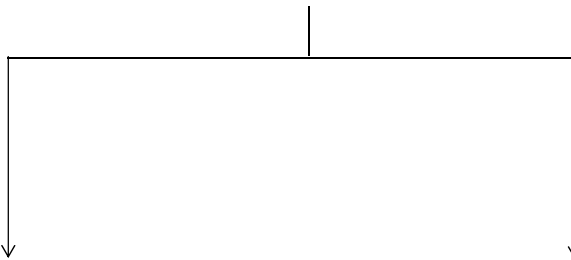
平成27・28年度予算内訳 (単位：百万円)	費目	27年度当初予算	28年度要求	主な増減理由
	印刷製本費	2	2	
	物品購入費	1	1	
計	3	3		

事業所管部局による点検・改善					
		項目	評価	評価に関する説明	
国費投入の必要性	事業の目的は国民や社会のニーズを的確に反映しているか。		○	広報誌の作成は、警備警察活動に対する国民の理解と協力を確保するために必要な事業である。	
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。		○	警備警察活動に対する国民の理解と協力を得るために実施する事業であり、国が実施すべき事業である。	
	政策目的の達成手段として必要かつ適切な事業か。政策体系の中で優先度の高い事業か。		○	警備警察活動に対する国民の理解と協力を得るために実施する事業であり、優先度の高い事業である。	
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。		○	競争性を確保した調達を実施している。	
	受益者との負担関係は妥当であるか。		○	競争性を確保した調達を実施している。	
	単位当たりコスト等の水準は妥当か。		○	競争性を確保した調達を実施している。	
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。		-		
	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		○	広報誌の作成のみに限定した執行である。	
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)		-		
	その他コスト削減や効率化に向けた工夫は行われているか		○	仕様の見直しを実施している。	
事業の有効性	成果実績は成果目標に見合ったものとなっているか		○	作成した広報誌は、関係省庁・自治体、重要インフラ事業者等に配布し、警備警察活動に対する国民の理解と協力を得るために活用されている。	
	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。		○	仕様の見直しを実施している。	
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。		○	見込みどおりの作成を行っている。	
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。		○	作成した広報誌は、十分に活用されている。	
関連事業	関連する事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)		-		
	所管府省・部局名	事業番号	事業名		
点検・改善結果	点検結果	広報誌の作成は、警備警察活動に対する国民の理解と協力を得るために必要なものであり、引き続き実施する必要がある。			
	改善の方向性	毎年度、本事業を効果的に実施するため、都道府県警察における活用実態を調査しており、今後も必要に応じて見直しを行う。			
外部有識者の所見					
点検対象外					
行政事業レビュー推進チームの所見					
現状通り	引き続き、適切かつ効率的な事業実施に努めること。				
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況					
現状通り	特になし。				
備考					
関連する過去のレビューシートの事業番号					
平成22年度	当初6-2	平成23年度	34	平成24年度	21
平成25年度	61	平成26年度	55		

※平成26年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。

警察庁
3百万円

〔 焦点の作成 〕



<印刷製本費>
【随意契約(その他)】
A. (株) miura-ori lab
2百万円

〔 焦点の印刷製本 〕

<物品購入費>
【随意契約(少額)】
B. 民間会社(4者)
0.8百万円

〔 掲載写真の納入 〕

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を
行っているかについて補
足する)
(単位:百万円)

A.(株) miura-ori lab

E.

費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
印刷製本費	焦点の印刷製本	2			
計		2	計		0
B.			F.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
C.			G.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0

費目・使途
 (「資金の流れ」に
 おいてブロックご
 とに最大の金額
 が支出されている
 者について記載
 する。費目と使途
 の双方で実情が
 分かるように記
 載)

費目・使途欄についてさらに記載が必要な場合はチェックの上【別紙2】に記載 チェック

支出先上位10者リスト
 A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(株)miura-ori lab	焦点の印刷製本	2	随意契約	-
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

B

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(株)時事通信フォト	掲載写真の購入	0.5	随意契約	
2	(株)共同通信イメージズ	掲載写真の購入	0.2	随意契約	
3	(株)アフロ	掲載写真の購入	0.1	随意契約	
4	(株)熊本日日新聞社	掲載写真の購入	0	随意契約	
5					
6					
7					
8					
9					
10					

